

自動運転サービス社会実装の実現

地方部における恒久的実施も含めた調査研究

一般財団法人道路新産業開発機構
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
日本工営株式会社
パシフィックコンサルタンツ株式会社
復建調査設計株式会社

 **背景****社会的背景**

- ・過疎化対策
- ・高齢者移動支援
- ・買い物難民対策 等

成長戦略2020

2030年までに地域限定型の無人自動運転移動サービスを全国100か所以上で展開

官民ITS構想ロードマップ2020

2025年目途に全国の各地域で高齢者等が自由に移動できる社会を実現することを目指す。

 **目的**

- ・地域課題の解決
- ・自動運転技術課題の解決
- ・運行体制の構築
- ・**社会受容性の醸成**
 - ⇒地域住民・地域事業主体との合意形成
 - ⇒地域内・外への意識啓蒙の普及促進

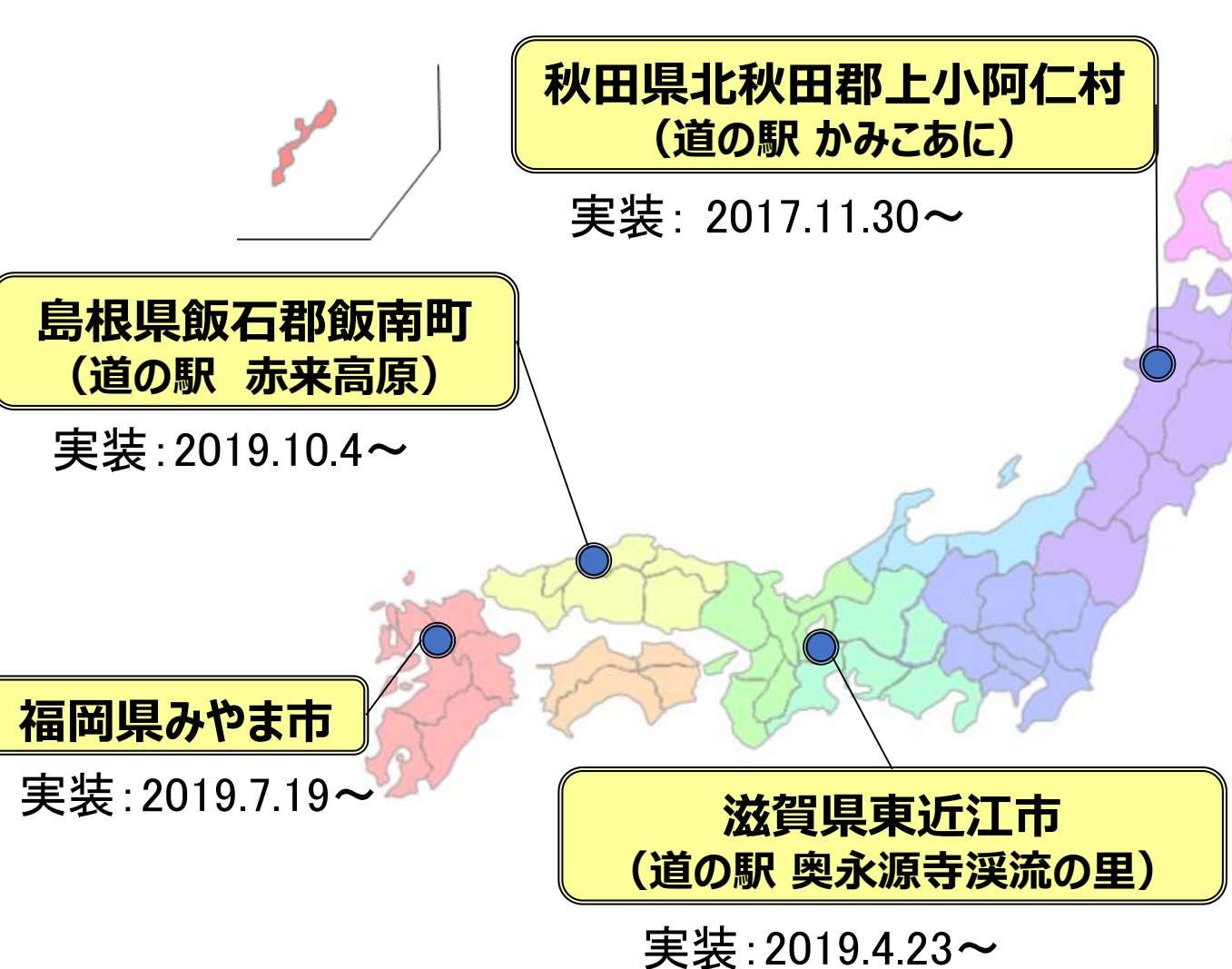
 **実施目標**

- ・地域への導入成立性確立
- ・持続的なサービスモデルの確立
- ・普及促進

2017年度から全国18箇所の道の駅を中心に取り組み開始
⇒2019年度以降、**4地域で社会実装に向けた取り組み**を実施







2. 実施概要

 **実施箇所**

 **使用している車両**


6人乗り: 最高速度12km/h
(自動運転走行時)



3. 取組の主なポイント

-  ①地域におけるサービス認知度向上・需要の掘り起こし
-  ②教育関係機関等と連携した多様な世代へのサービス浸透
-  ③社会実装に向けた維持管理の具体化
-  ④横展開に向けた問い合わせ窓口等の設置



4. 地域におけるサービス認知度向上・需要の掘り起こし

 **課題：自動運転サービス導入地域外からの利用者が多く、地域に根付かない**

- ⇒ **自治体の悩み、地域住民の声等をしっかり把握**し、真に移動サービスを必要としている人の元へサービスを届ける(ルート・ダイヤグラム・運行方法等)
- ⇒ コミュニティバス、移動販売車等との連携、町内イベント等と密接に連携したダイヤグラム構築による、**地域に不可欠な生活サービスとして実装**する

▼表示イメージ(車両現在地の確認)



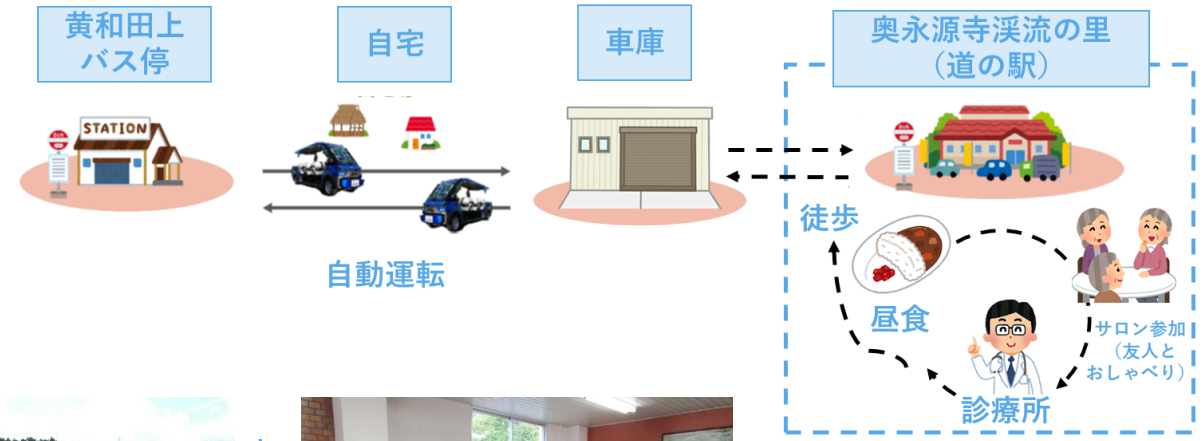
コミュニティバス6台にタブレット(車載端末システム)を導入
今後、乗降人数の入力を行い、乗降管理も行う予定



4. 地域におけるサービス認知度向上・需要の掘り起こし

自動運転サービスと連携した地元サロンの利用（滋賀県東近江市）

- 道の駅の市民サロンで地元住民向けの「えんがわ喫茶」が開催
- 診療所利用、道の駅での昼食、市民サロンへの参加を目的に道の駅に移動する沿線住民の方が自動運転サービスを利用



ドライバーが女性に声をかけて、自動運転サービスを利用



黄和田キャンプ場から自動運転車両の車庫まで自動運転サービスを利用



車庫から道の駅まで、友人と徒歩で移動



えんがわ喫茶でお茶をして皆さんと団らん



沿道上の施設(養魚場)とタイアップしたモデルコースの提案

出張診療所で実施したワクチン接種時の移動支援 (滋賀県東近江市)

第1号 自動運転乗車のモデルコース!

自動運転溪流満喫コース

予約・お問い合わせ
 ■自動運転乗車: 050-6862-0024
 ※道の駅内の「緑と水の散歩」でもご利用いただけます
 ■池田養魚場: 0748-29-0351

自動運転乗車の乗車では、愛知川の溪流や周辺の山々の素敵な景色を眺めることができます。このコースでは、途中下車して、溪流沿いを散歩した後、イワナ料理をご堪能いただけます。

自動運転を途中下車した後は、きれいな溪流沿いを散歩することができます。

コースマップ

道の駅 奥永源寺溪流の里

片道 150円

奥永源寺地域の繁華の雰囲気を感じられる他、溪流や山々の素敵な景色を眺めることができます。

見える景色

養魚場に近い場所でお弁当いただけます。

新大園

この自動運転溪流満喫コース限定の料理をお召し上がりいただけます!! (要予約)

池田養魚場

「谷の精霊」または「幻の魚」の異名をもつイワナ料理が味わえるレジャースポット。釣りやクレーンなどお楽しみいただけます。

行程

① しくコース: 養魚場で約2時間滞在可能
 ② 湯滝コース: 養魚場で約1時間滞在可能
 (往路: 10:25 / 12:30 ※乗車出発時間)

道の駅 停留所 スタート

1. 自動運転乗車
乗車 約10分

養魚場 付近

2. 溪流沿い散歩
徒歩 約5分

池田 養魚場

3. イワナ料理

凡例

● 乗車・下車ポイント
 — 自動運転乗車 走行ルート

ワクチン接種日に自動運転車をご利用いただけます!! (*予約必須)

道の駅「奥永源寺溪流の里」内の「永源寺東部出張診療所」にて実施される新型コロナウイルスのワクチン接種日に合わせ、以下の通り運行します!
 なお**予約がない場合は運行いたしません**のでご了承ください

○臨時運行日: 6月接種日…3, 10, 17, 24日(木)
 7月接種日…1, 8, 15日(木)

○臨時運行便: 行き…第3便(道の駅13:00着)、第4便(道の駅14:00着)
 帰り…第5便(道の駅14:50発)、第6便(道の駅15:40発)
 →各停留所の発着予定時間については裏面をご覧ください!

ご予約は以下へお電話いただくか、道の駅内設置の受付でも承ります。
 TEL: 050-6862-0024 (事務局)



5. 教育関係機関等と連携した多様な世代へのサービス浸透

🚗 地元主体の広報戦略

- ⇒道の駅「赤来高原」の駅長によるポスター・幟(のぼり)のデザインにより、子どもにも親しみが持てる広報活動
- ⇒かわら版の発行により、地元の方に興味・関心をもってもらう社会的受容性の向上に力を入れて利用促進を図る。
- ⇒広報は道の駅を管理する観光協会と連携し、各種のSNSにて日々情報を発信。



▲かわら版による広報



▲SNSによる広報



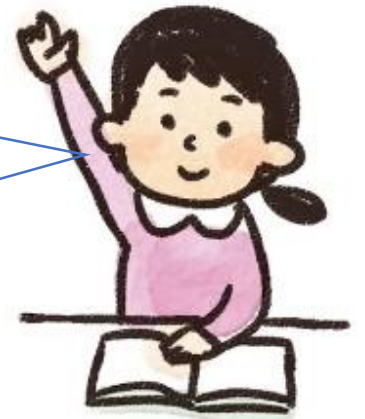
5. 教育関係機関等と連携した多様な世代へのサービス浸透


課題：自動運転技術・サービスへの理解度が低い

⇒地域の教育関係機関(小学校等)において自動運転サービスの特徴・必要性等の教育を行い、**子どもを通して家庭内・地域内へ意識の浸透**を図る

■ 児童の声


社会実装を行っているが、その前に2回も実験を行っていることを知った




登下校中、電磁誘導線の工事見たことがあったが、今日の授業でそのしゅみを学ぶことができてよかった




6. 社会実装に向けた維持管理の具体化

 **課題：自動運転に対応した道路インフラと車両の維持管理に関する知見がない**

- ⇒社会実装を見据え、維持管理方法を整理し、SIP事業間等での情報連携による知見の蓄積・共有を図る
- ⇒誘導線、車両のメンテナンスのマニュアルの構築、および地元企業等への教育研修の実施



除雪作業等の影響により、電磁誘導線が断線



誘導線の被膜が破損し、銅線が露呈



7. 横展開に向けた問い合わせ窓口等の設置

課題：情報共有による社会受容性の向上が必要

- ⇒ 社会受容性に関するSIP自動運転の他の施策関係者と連携を図り、効果の定量化や情報共有による社会受容性の向上を図る
- ⇒ **マニュアルの整備・更新、問い合わせ窓口を設置**

○ 自動運転車両の仕組み、各地の取組を伝える動画を作成



▲ 協力のお願い



窓口 <https://www.hido.or.jp/jidosapo/index.html>

